

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	清水町きずな園		
○保護者評価実施期間	2025年11月25日 ～ 2025年12月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数) 29人
○従業者評価実施期間	2025年11月25日 ～ 2025年12月5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所を利用するお子さんの支援について、保護者とお子さんの発達段階や家庭での困り感等を共有をしながら実施している。	個別支援計画の目標を達成するために、保護者との協働を意識しながら、療育で行ったことを家庭でも実践してもらえるように具体的に助言をするようにしている。	各職員が利用児童とご家族のニーズに寄り添った支援が出来るように、事業所内で療育内容の検討等について共有するようしていきたい。
2	個別支援計画を作成する前に保護者にお子さんの現状の課題や困り感等を丁寧に聞き取りをするようにしている。また中学生以上の利用児童には、直接困り感や心配ごとについて聞き取り、達成出来そうな目標設定をするようにしている。	月1回個別支援検討会議を実施し、全職員で利用児童の現状把握に努めている。また職員から助言等をもらうことで、担当職員のスキルアップにつながっている。	月1回の個別支援検討会議を通じて、担当職員は担当児の発達段階を細かく見極め、個別支援計画の評価を行うとともに保護者から相談があった内容等を全職員で把握することで、より保護者に適切な助言が出来るようにしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日や学校が休みの場合や長期休暇中などによって活動プログラムの工夫がなされているかの点についての評価が低い。	長期の休み(夏休み、冬休み)は、自立支援活動(入浴、買い物、調理など)に重点をおいて支援をしているが、支援内容を鑑み、対象を小学4年生以上を対象に実施していたことから、保護者への周知にばらつきが出てしまったと思われる。	次年度からは、利用児童の発達段階により、小学校低学年でも参加出来るような買い物支援などを実施出来るように検討していくほか、未就学児童についても運動支援など、出来ることを検討していく。
2	非常時の対応に関する評価が低い。	年1回役場と合同で避難訓練を実施し、園だよりでも伝えていく。しかし避難訓練が午前10時開始となることが多く、参加する対象児に限られるためか、保護者全体に訓練日時や実施した内容等正しく理解されていない部分も大きい。	避難訓練実施前に日程が分かり次第、利用児童の保護者へ町の公式LINE等で周知する。また避難訓練の様子なども後日園だよりで報告していく。
3			